



2023年7月31日

各位

会社名 株式会社 J - M A X
 代表者名 代表取締役 齊藤 浩
 社長 執行役員
 (コード番号 3422 東証スタンダード・名証メイン)
 問合せ先 取締役上席執行役員 松井 恒夫
 企画本部 長
 (TEL 0584-48-2832)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2023年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|------------------------------|--------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|-------------------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 22,000 ~24,000 | 百万円 10 ~360 | 百万円 △240 ~180 | 百万円 △390 ~△70 | 円 銭 △33.23 ~△5.96 |
| 今回修正予想(B) | 24,000 | 170 | △10 | △150 | △12.96 |
| 増減額(B-A) | 0 ~2,000 | △190 ~160 | △190 ~230 | △80 ~240 | |
| 増減率(%) | 0 ~9.1 | △52.8 ~- | - | - | |
| (参考)前期第2四半期実績(2023年3月期第2四半期) | 23,119 | 828 | 809 | 274 | 23.39 |

(2) 修正の理由

当社は、世界的な半導体供給不足の継続及び中国における新たな電気自動車メーカーの台頭等に伴う主要取引先の大幅な減産により、当社グループにおける収益構成の主要部分を担う中国の生産動向が極めて不透明であることを踏まえ、5月以降中国拠点の生産が回復する場合を上限值、期末まで減産が継続する場合を下限值と設定し、2023年5月9日開示の業績予想をレンジ形式としておりました。今回、当第1四半期累計期間の実績及び現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想をレンジ形式から特定予測値へ業績予想を変更いたしました。売上高、各利益共にレンジ内となる見込みであります。売上高については、為替が想定より円安に推移したことにより、当初想定した上限値となる見込みであります。なお、通期業績予想につきましては、中国拠点における下期の生産動向が不透明であるためレンジ形式から変更していません。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上